



ゆうメール

4月といえば、新しい生活環境でスタートする方が多くいらっしゃることでしょう。そんな新環境の中、職場で、ご家庭で、人育て子育てのご苦労はありませんか？

そこで、私の失敗談を2つお話しします。

■思い込みで叱る

私は学校教員をして20年を過ぎましたが、若かった頃にした失敗を今でもちょっと引きずっています。それは3月の卒業間近の放課後のことです。自分の担任するクラス的环境整備でもしようと、教室に向かいました。すると数名の女子が残っていて、私を見るなり何かコソコソとカバンにしまいました。てっきり、不要物でも持ってきたのか！と思い込んでしまい、「何隠したの?!」と強い口調で聞いてしまいました。すると、彼女たちは「もっと、生徒を信じてよ。」と言い残して教室を去ったのです。後になって分かったことは、その隠したものは、私へ渡す卒業の寄せ書きだったのです。事すでにおそし、卒業した後で謝ることも出来ずに別れてしまいました。

このとき、私は自分勝手な思い込みで叱ってしまいました。事実をしっかりと確認すればよかったのに早とちりし、このときの生徒の温かい思いを受け取ることが出来ずに自分が情けなくなりました。

■成長の場を奪う

2つ目の失敗は我が子に対してです。高齢出産で念願の赤ちゃんを授かり、溺愛していました。子どもがつまづかないようつらい目にあわないようにと、やる前から母としていろいろなことを先回りした関わりが多すぎていました。そのせいか、小学生になった今でも、何に関してでも私に許可を取るようになってしまいました。「〇〇の遊びしていい?」「このおやつ食べていい?」などと自分で考えてやればいいことを、細かいことまで親の許可をとるようになってしまったのです。つまり私は、子どもが自分で考えて行動する成長の場を奪っていたため、我が子は自分で選べな

い、考えられない、行動できない、自信が持てない状態に陥りかけていたようです。

今、私がいなくなったらこの子はどうなるのだろう。このままで将来は大丈夫なのだろうか。困難にぶつかったときに一人で考えて乗り越えていくことができるのだろうか。改めてマザーズサポーター協会の勉強会に出て、子育てに必要な親の関わりを知り、反省しました。

■相手の自立のために・・・

2つの事例から、その時私はどう対処すればよかったのか、これからどのような意識で子どもと向き合えばよいのでしょうか。

子どもを丁寧に観察することと、子どもの生きる力を育てるために、「自立」※を育てることでした。

教育という関わりを良好に行うためには、やはり相互の信頼関係が必要でしょう。それにはまず自分から生徒を見守る姿勢が大切でした。それ以来、少しの変化でも見逃さないよう、出来るだけ日頃から生徒をよく観察し、「今日は、元気そうね。」「最近、あの友達と一緒にいないよね?」とささいなことでも声かけをしています。

もちろん見守るだけでなく、生徒の行動の善悪を事実確認した後で叱咤激励をし、「次はどう行動していくの?」と投げ返しています。そのせいか生徒のことを理解しやすくなり、以前のような思い込みからくる失敗は少なくなりました。

子どもに対しては、なかなか親として大変なことですが、親が子ども自身で考え行動していく成長の場を奪い、進むレールを敷いてやるのではなく、つまづきながらも自分で考え、自らのチカラで進んで行く場を意識して作ってあげるようにしています。

(裏へ続く)

〒654-0067

神戸市須磨区離宮西町 1-2-20-104
NPO 法人マザーズサポーター協会

簡単に手をさしのべることはせず、大きな視野で、ぐっと我慢して見守る姿勢が必要だったのですね。

親もともに成長するのだと言い聞かせて進めば、少々失敗しても子どもはそれを学習し、次へのステップにつなげ、やがてそれは自信へとつながっていくことでしょう。少しずつでも親が変わっていけば、自分で考え行動することが増え、自立した子へと成長していくのだと思います。



さて、みなさまも、職場では新しいメンバーで人間関係を築いておられることでしょう。また新しく環境が変わられたご家族もおられるでしょう。そこでいろいろと悩みも出てく

るでしょうが、相手の自立を意識した人育て子育てをされるのはいかがでしょうか。

(文責：小中 ノリ子)

※自立について

●「自立」とは

自らの人生や仕事において、「自分が選択している」という意識があり、その選択に責任を持っていること。

●「自立した人」とは

一人ひとりが自分で考え、壁を乗り越える力を身につけていること。何か問題が生じたとき、他人への責任転嫁(他責)ではなく、つねに当事者意識を持ってあたること。



「NPO 法人マザーズサポーター協会 ニュースレター第 22 号」をお読みいただきありがとうございました。

過去に情報提供のご希望があったみなさまに、送付させていただいています。

今後もさらに内容を充実させ、育てる側に役立つ「自立型支援方法」の情報やイベントのご案内などを発信させていただきます。

不定期の季刊誌として HP や書籍では読めない情報を郵送でお届けできるように、メンバーで頑張っていきます。もしご不要の場合は、お手数ですが下記のメッセージにお名前を明記の上「不要」とご記入いただき FAX か、メールを頂けたらありがたいです。どうぞよろしく願いいたします。

ご意見、ご感想などもいただけましたら、今後に反映していきたいと思えます。いつでもお待ちしております。

ご感想

HP などに掲載(イニシャルやペンネーム)させていただく場合がありますので、好きなお名前をお聞かせ下さい。

お名前

ありがとうございました！！

～信頼関係を作り、自立と当事者意識、考える力を育てる「自立型支援方法」～

<http://m-supporter.com>

FAX 078-731-0615

NPO 法人マザーズサポーター協会

